

外観デザイン

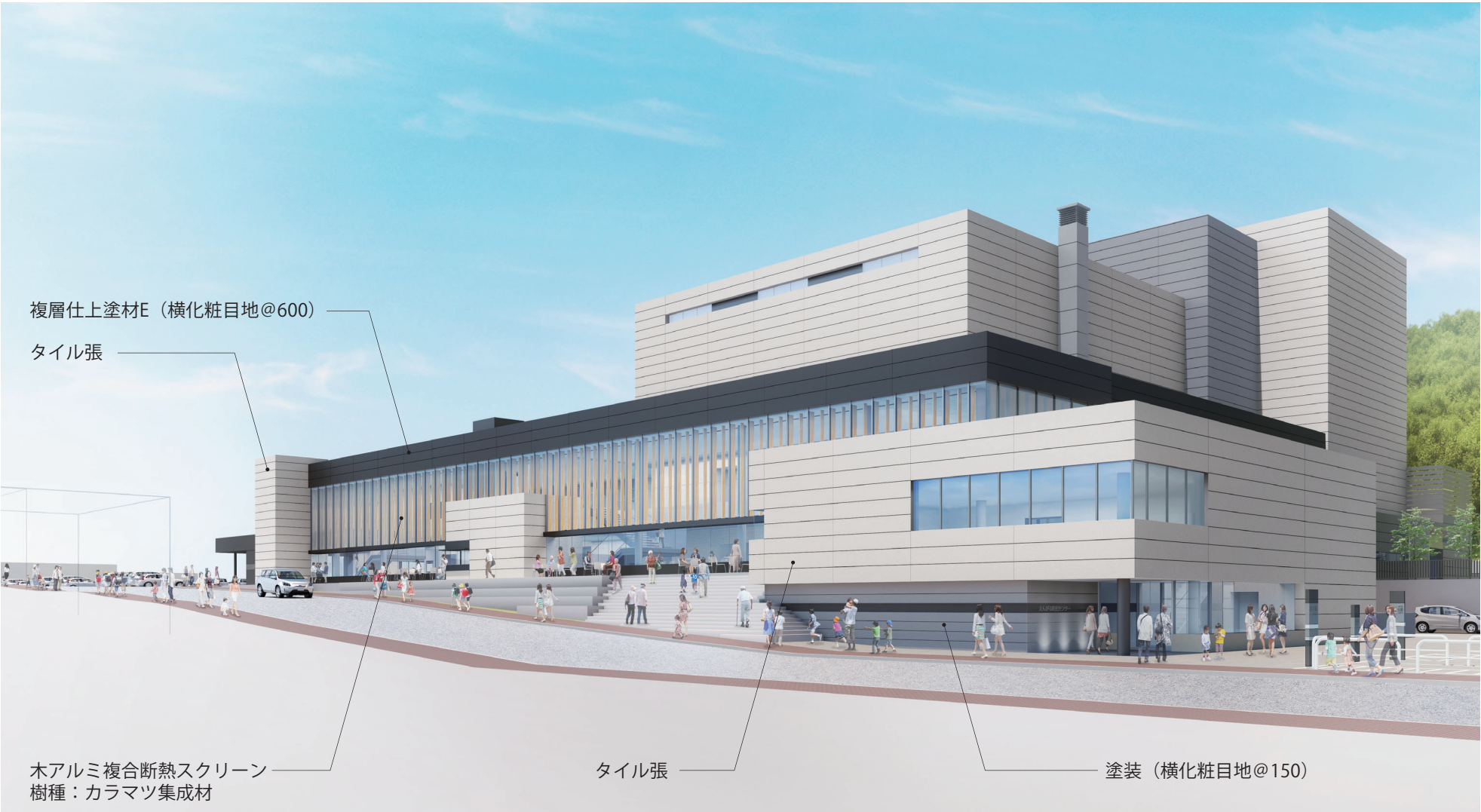
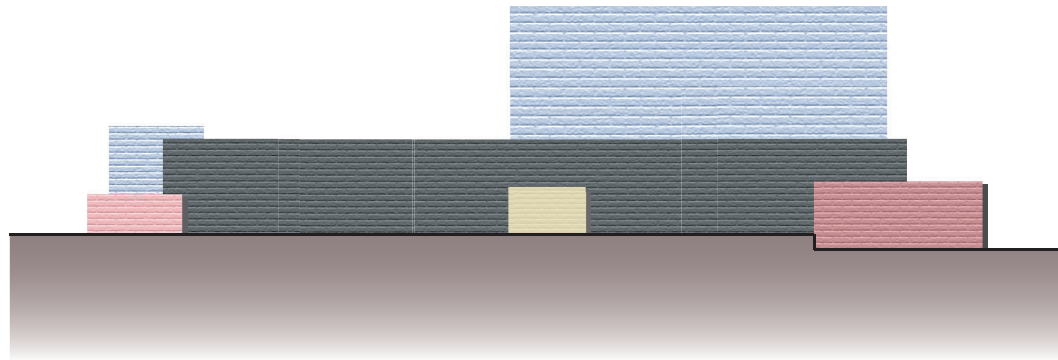
- ・周辺の町並みと調和しながら、遠軽町らしさをデザイン要素に取り入れた外観を計画。
- ・耐久性・メンテナンス性が高い仕上材（:コンクリート・タイル・ガラス）を採用し、長く町民に愛用される建物として、維持管理負担を低減する計画。

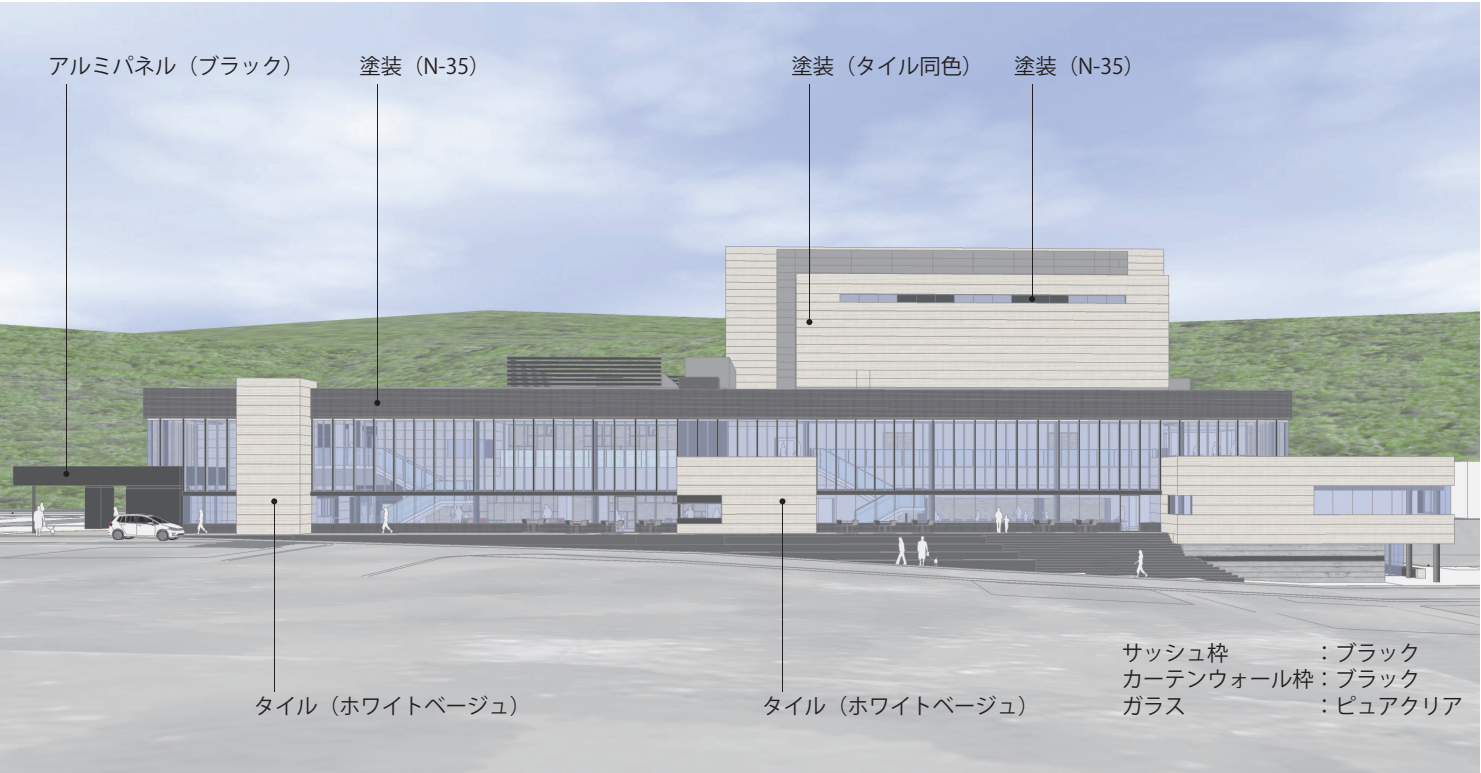
デザイン要素

- ・日本ジオパークの一つとなる白滝ジオパークや、街の象徴の瞰望岩にみられるようなダイナミックな土地の形状を遠軽町の特徴の一つとしてとらえ、力強い「**ボリューム感（量塊）**」と大地が連なるダイナミックな「**層**」をデザイン要素として計画。
- ・町の原風景を想像し、町民の様々な活動・文化を受容し、力強く、将来にわたって遠軽町を支えていく思いも込めた施設計画。

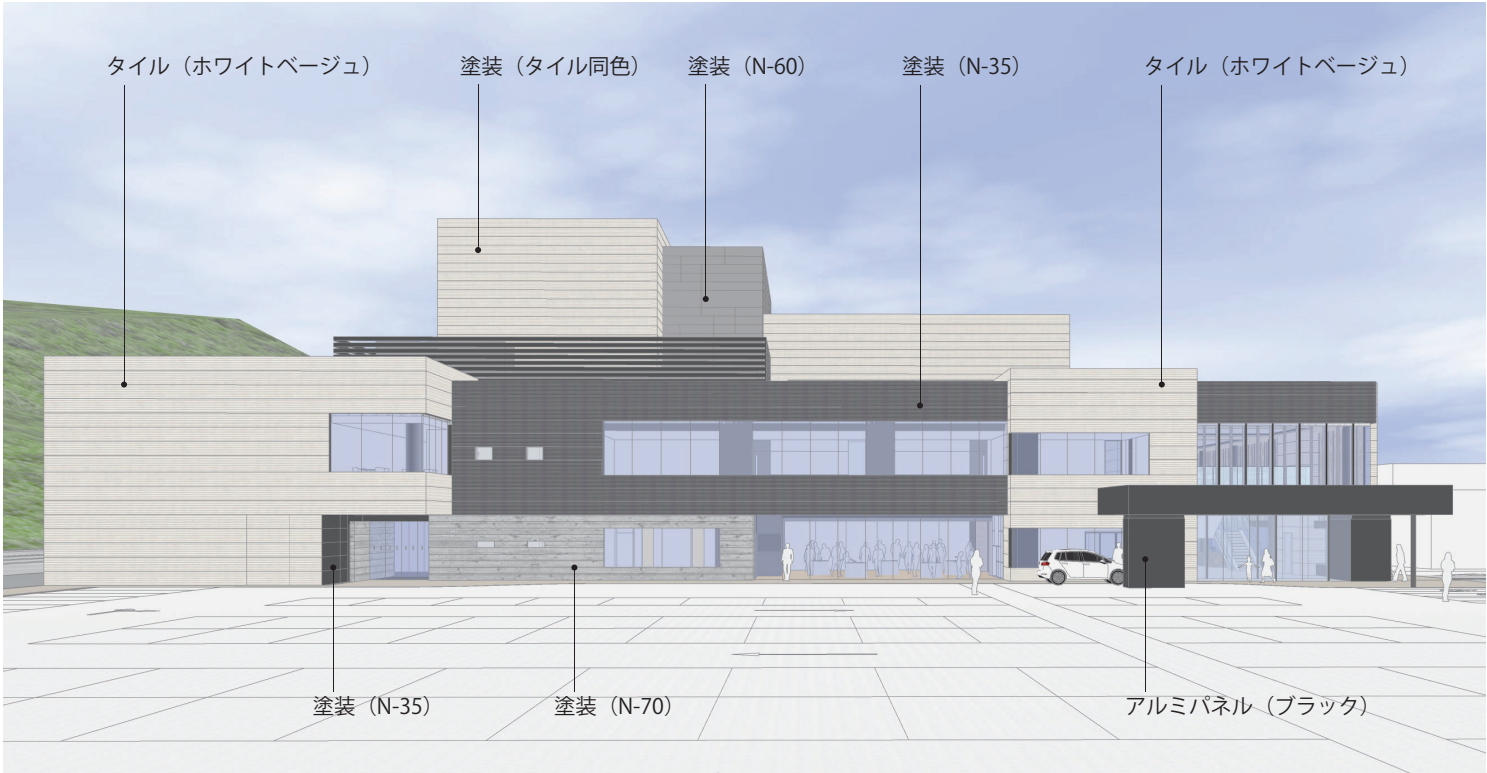


量塊と層を取り入れた建物イメージ
遠軽の大地から、町民の思いによって生まれる「えんがる町民センター」
大地の変動によって生まれた瞰望岩とならぶ、新たな遠軽の象徴を目指します。

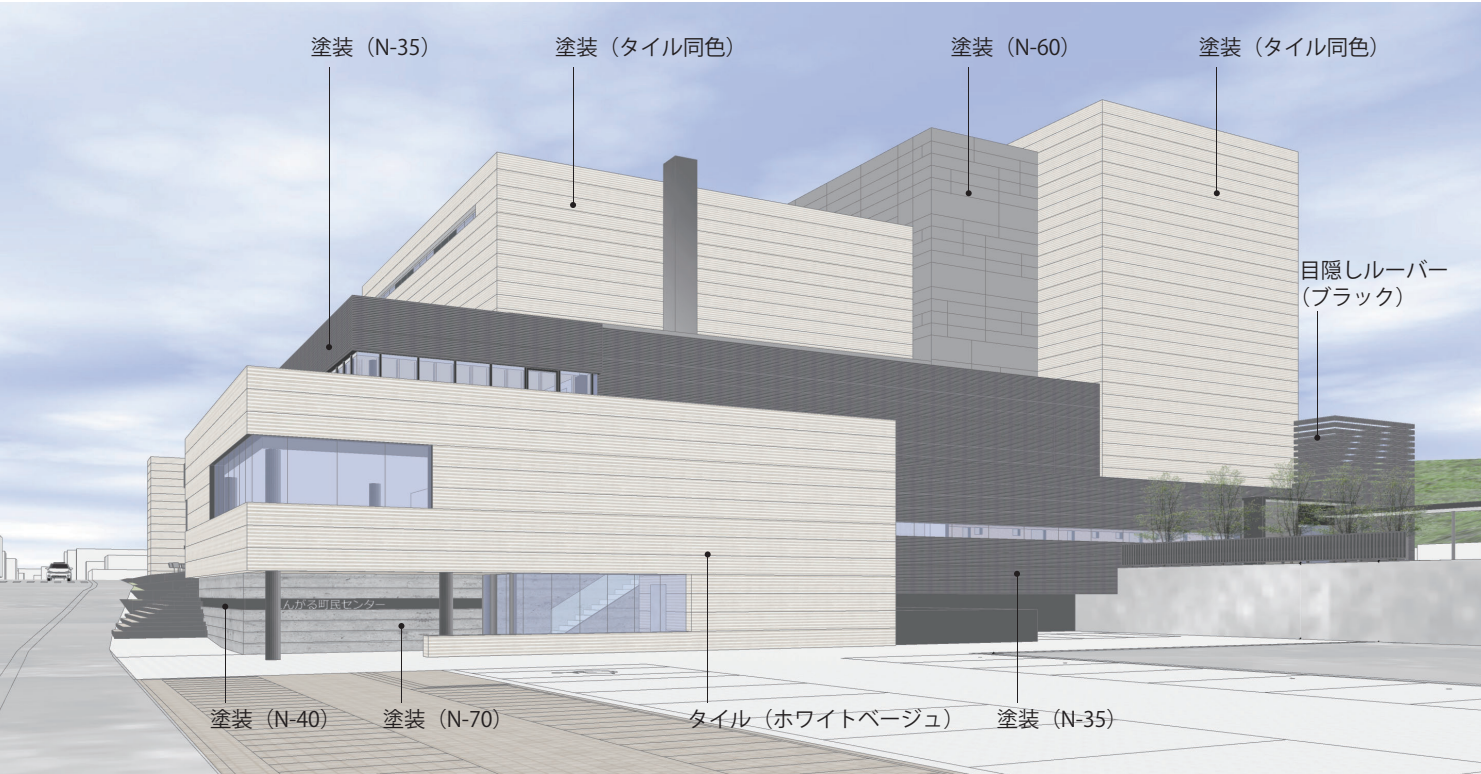




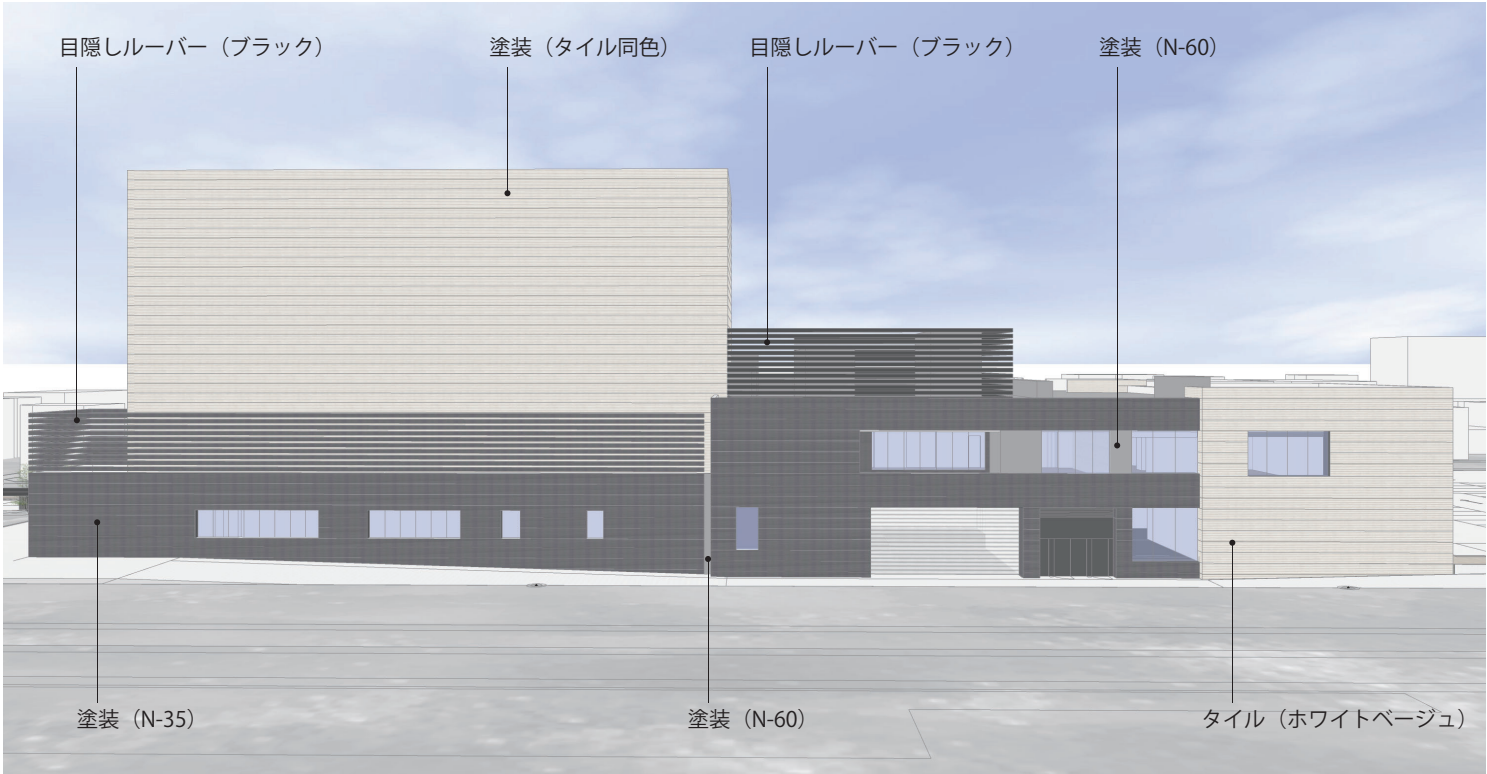
東立面（岩見通り側）



南立面（駐車場側）



北立面（駅前通り側）



西立面（線路側）

デザインアクセント

遠軽町は大地の変動により生まれる黒曜石の日本最大級の産地となります。本計画においては、実施設計にて検討を行い、アクセントカラーとして利用する方針を計画しました。

黒曜石



町の基幹産業として発展に貢献してきた林業をふまえ、木材の積極的利用を検討しました。地域材の利用を検討し、地域産業への貢献、および、地域の方々が誇りに思える施設づくりを目指します。

木



遠軽町の文化の一つでもある吹奏楽。音楽活動が盛んな地域にふさわしく、リズムが感じられる外観・内観を検討しました。「素材の連続性」「場・機能の展開」「空間ボリュームの操作」により、町民の活動がイキイキと感じられる施設を目指します。

リズム感

